

地域社会の持続的発展



いなべ市「SDGs推進計画等策定支援業務」を受託(百五総合研究所)

当行グループ会社の百五総合研究所は、2020年度、いなべ市より「SDGs推進計画等策定支援業務」を受託し、同市内の事業者に対するSDGsの啓発・普及業務に取り組まれました。

2020年7月、いなべ市が内閣府地方創生推進室から「自治体 SDGs モデル事業※1」と「SDGs 未来都市※2」に選定されたことをきっかけに2020年10月、いなべ市内事業者への「SDGsの啓発・普及」を目的に、地域の活性化領域に強みを有する百五総合研究所が同支援業務を運営することとなりました。

具体的には、産学官の外部有識者からの意見を取り入れながら、いなべ市内事業者がSDGsに関する自社の取組を認識できる「いなべ市版SDGs評価シート」を策定し、市内事業者に活用促進や、広くSDGsにかかる知識・

※1：いなべ市はSDGs未来都市のうち、特に先進的な取組を行う都市として「自治体SDGsモデル事業」として認定されました。2020年7月、いなべ市を含む全国で10事業が認定されています。

情報を発信することを目的に、ワークショップの開催や、専門サイトの構築を行いました。

本事業の取組により、策定したSDGsチェックシートは、事業期間中にいなべ市内事業者から76件の回答がありました。また、カードゲームで楽しくSDGsの考え方を学ぶワークショップを開催するなど、情報発信することで、身近な取組みがSDGsにつながっているという認識の醸成にもつながりました。

今後も当社は、いなべ市がSDGs未来都市として一層の発展を遂げられるよう、さまざまな取組を継続します。

※2：SDGs内閣府地方創生推進室が、SDGsの達成に取り組んでいる都市を選定する制度のことです。2020年7月、「三重県」ならびに「いなべ市」を含む全国33都市が認定されました。なお、2018年6月に志摩市が認定されています。



SDGs関連のイベント一覧

開催月	テーマ	対象者	参加者数
2020年12月	「SDGs de 地方創生 workshop」SDGsの基本的学習	いなべ市内事業者、住民	20名程度
2021年1月	「中学生向けワークショップ」カードゲームを用いたSDGsの基本的学習	藤原中学校1年生	33名
2021年3月～	SDGsの概要理解と事業活動との関係性を学ぶ	いなべ市 youtubeチャンネルにて配信	



ボランティア活動

ユニセフ「外国コイン募金」への協力

開発途上国の子どもたちを対象とした社会開発を行っているUNICEF(国連児童基金)の活動に賛同し、2007年4月から、当行の20か店にユニセフ「外国コイン募金」を設置しています。ご来店されるたくさんのお客さまから寄せられた外国コインは、年に1度、当行本部で回収し、日本ユニセフ協会へ定期的に届けています。

集められたコインは、現金化され、世界150以上の国と地域で子どもたちの健康の向上、栄養の確保、初等教育の普及、緊急支援などの支援活動のために使われています。



ユネスコ「書きそんじハガキ・キャンペーン」への参加

毎年、三重県ユネスコ連絡協議会が実施している「書きそんじハガキ・キャンペーン」に参加しています。ポストに投函されていない未使用の郵便ハガキや年賀ハガキの回収を行内で呼びかけ、集まったハガキを三重県ユネスコ連絡協議会に送っています。

これらのハガキは現金化され、アフガニスタン、インド、カンボジア、ネパール、ラオスなどの学校に行けない子どもや、読み書きのできない大人たちに学びの場を作る※ことに役立てられています。



※11枚の書きそんじハガキで、カンボジアでは、一人がひと月学校に通えます。

金融教育

エコノミクス甲子園 三重大会の開催

2011年から毎年、認定NPO法人金融知力普及協会と当行の共催で全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」の三重大会を開催しています。

本大会は、金融経済情勢の多様化にともない金融知力の普及が必要とされているなか、高校生に楽しみながら、金融経済を学ぶきっかけを提供することを目的としています。

2020年12月に開催された第10回の三重大会は、コロナ感染拡大の影響により会場開催はできませんでしたが、オンライン形式により実施されました。三重県内の高校から15チーム30名の高校生が参加し、金融知力を競いました。

本大会では見事、四日市の暁中学校・高等学校のチームが優勝し、三重県代表として、2021年2月にオンライン形式による全国大会に出場しました。



スポーツ振興への取組み

トップアスリートの活躍を通じた豊かな地域社会の実現

46年ぶりに三重県で開催が予定されている国民体育大会(三重とこわか国体)に向け、スポーツを通じた地域振興への期待が高まっています。

当行では、地域のスポーツに対する機運をさらに高めるため、2018年から国内外で活躍するトップアスリートを採用しています。現在、柔道男子100kg超級の国際大会などで活躍している原沢久喜選手など、6名のトップアスリートが国内外で活躍しています(2021年3月末現在)。

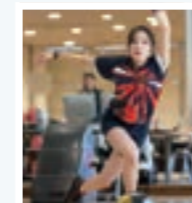
トップアスリートの活躍を通じ、地域の皆さまと喜びを分かち合うことで、豊かな地域社会の実現に貢献したいと考えています。



トップアスリートからのメッセージ



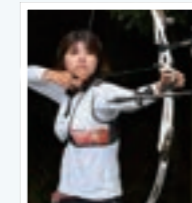
ボウリング女子
谷原 美来 選手



私は三重県出身なので、10年前に三重県で国体開催が決まってから三重国体でいい成績を残すことを目標に競技を続けてきました。2人チーム戦は前回大会で優勝しているので連覇をできるように、ほかの種目でも上位入賞目指して頑張ります。



アーチェリー女子
古田 悠 選手



3年前に三重に来て、今こうして競技を続けられているのも、三重県の皆さまのおかげなので、国体で優勝して結果で恩返ししたいです。アーチェリー競技団体優勝めざしてがんばります。応援よろしくお願いします。



柔道男子
100kg超級
原沢 久喜 選手



三重とこわか国体が自身にとっての初の国体出場となります。競技を通じて、いろいろな人に勇気や感動を伝えたいです。三重県が優勝できるようにしっかりと貢献したいと思いますので、県民の皆さん、応援よろしくお願いします。



柔道女子
78kg級
浜 未悠 選手



コロナウイルスの影響で練習が思うように出来ず、本当に苦しい時期でしたが、多くの方々に支えられ、やっと試合で結果が出てきました。18年間の現役生活集大成。絶対に後悔したくありません。自分の為に、三重県の為に最後まで戦い抜きますので、応援のほど宜しくお願い致します。



セーリング男子
レーザー級
南里 研二 選手



コロナの影響で全国的に暗いニュースも多いですし、国体に関しても制限を設けて行う新しい形の国体になると思います。その中で自分たちの競技を見てもらって元気になってもらえたら嬉しいです。皆さんと一緒に頑張りたいと思いますので応援よろしくお願いします。



ホッケー女子
森川 芽栄 選手



コロナ禍で思うような活動ができない時期もありましたが、新メンバーも加入し「国体優勝」に向けチーム一丸となり活動しています。キャプテンとしてホッケーで三重県を盛り上げられるよう全力を尽くします。応援よろしくお願いします。